

第3回 5月11日(木) 13:00～14:30
自らの立ち位置を知る: 私と沖縄



元山仁士郎氏

「辺野古」県民投票の会元代表／
一橋大学大学院法学研究科博士課程

会場: 津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1991年、沖縄・宜野湾市生まれ。「辺野古」県民投票の会元代表。国際基督教大学教養学部卒業、一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。現在、一橋大学大学院法学研究科博士課程。法政大学沖縄文化研究所奨励研究員。認定NPO法人ヒューマン・ライツ・ナウアドバイザー。SASPL(特定秘密保護法に反対する学生有志の会)、SEALDs、SEALDs RYUKYUの立ち上げ／中心メンバー。2019年1月には、「辺野古」県民投票への不参加を表明した5つの市の市長に対してハンガーストライキを行い、全県実施を実現するために尽力。2021年5月には、沖縄の「復帰50年」に際し、首相官邸前などで辺野古新基地建設の断念を求め、再びハンガーストライキを行った。

<担当スタッフより>

地域の意思決定が尊重されず政治に翻弄されてきた沖縄で生まれ育ち、沖縄の問題に向き合い、行動し続けてこられた元山さんのお話を通して、どこかの国の国籍を持ち、必ずどこかの国の領土で暮らしている国際関係の中にある、自分を見つめてみてください。そして、「自分は何者なのか」「自分軸とは一体何なのか」「自分軸があるとするならばそれは何の影響を受けてどのように形成されるものなのか」を考える時間にしていただければと思います。